

学校で「みんなの学校」をしよう

～鶴中プロジェクト：元鶴橋中学校での学校イベント報告～

大阪市立
鶴橋
中学校

【ミッション】

学校の思い出を風化させず、

この地の歴史を大切にしてきた懐かしい校舎とともに残し伝えていく

【ビジョン (@鶴中)】

図書をはじめとしたアートフルな活動を通じて多文化交流のできる、地域に開かれた心休まる緑豊かな居場所をつくる

いくのな文化・歴史を伝え、未来を語る学び舎

いくの版フォルケホイスコーレ（みんなの学校）



学校で「みんなの学校」をしよう 実行委員募集！

出展者募集！



• 趣旨に賛同いただける方、もしくは鶴橋中学校に思い出をお持ちの方なら、どなたでも参加可能です。

• みんなの学校をみんなで協力して、新しい学びの場として創造していきましょう。

• 連携先：一般社団法人いくのもり

大阪市生野区林寺4-2-18 「てんぷらー」 Tel:06-6716-5550 FAX: 06-7635-5258



1、活用希望の小学校

鶴橋小学校、勝山小学校など、東桃谷小学校に近い小学校 → 子どもが行きやすい範囲なので

2、どのようなかわり方を考えているか？（3、と混ざってます）

子どもの居場所 Yu-Ya では、学校に行きたくない子の居場所づくりをしています。

跡地を利用して、新しい学校を作りたいです。全体を借り上げての運営になるのでしょうか。

A案

先月、Yu-Ya で和歌山にある「きのくに子どもの村学園」の見学に行ってきました。小・中・高とあります。そこでは、体験型カリキュラムという授業のスタイルをとっています。教えられるのではなく、体験を通して子どもたちが主体的に学ぶこと、協力し合って共に学ぶことを大切にしています。演劇、農業、工房(建築)、クラフトなどのプロジェクトがあり、1年間どのプロジェクトを学ぶかを選びます。例えば、ものづくりのプロジェクトで畑で綿花を育てる。どれくらい収穫できると、Tシャツが作れるか？何枚できる？→算数。花の作りを観察する→理科。綿、織物、紡績といった糸偏(いとへん)の漢字に触れる→国語。海外の綿花の産地や植民地など、地理や歴史につなげていく、という学び方。その時必要な事は学年をまたいで学んでいきます。「体験につながっているから理解できる。低学年でも数や言葉の感覚をつかむきっかけになります」(担任の先生)、「知識はもともと混沌としたもの。教科に分けたのは人間ですから」(中学校長)(2019年9月22日朝日新聞参照)

テスト、成績、宿題もない学校です。ディスカッションを大切にし、みんなで話し合っ決めて決めることも大きな特徴です。(運動会をするかしないかなども)

「きのくに子どもの村学園」は系列校があります。山梨、長崎、福井など。生野区にきてもらえないかと思っています。

B案

広島県福山市では、公立小学校でオランダの教育、イエナプラン教育を取り入れています。

1～3年生、4～6年生と異年齢で学びます。障がいあるなしに関わらず、一緒に学びます。『教室には、「輪になって話す場所」「グループ作業の場所」「1人で静かに遊ぶ場所」などがあり、4つの特徴的な活動（対話、自立学習・基礎学習、協働学習・総合学習、催しと行事）と遊びを循環させる時間割で学ぶ。』スタイルです。テスト、チャイムなしです。

『福山市は、イエナプラン教育を行う学校の環境整備などについて地域や地元企業から提案があり、「子ども主体の学び」全教室展開を目指す福山市の考え方と方向性を同じくするものと判断。千年小中一貫教育校（仮称）への再編のため、2022年3月に閉校する常石小学校の施設を活用し、官民で協力して2022年4月にイエナプラン教育校を開校する。』

長野県では、**小学校の廃校を譲り受け、イエナプラン教育の学校を作っているところ**があります。

「学校法人 茂来学園 大日向小学校」 首都圏を中心に保育所・学童保育を運営する「グローバルキッズ」(東京・千代田区)の代表取締役・中正雄一さんが理事を務める「学校法人 茂来(もらい)学園」が運営

「一条校となる私立小学校の開校を目指し、2018年6月28日に長野県へ学校法人と小学校の設立認可申請をしました。(一条校とは、学校教育法第一条に定められている学校の総称です。)2019年4月の開校を目標にしています。」(学校のパンフレットより)

「学校は、社会に出る前の練習の場、いわば『小さな社会』です。現実の社会を反映し、異なる年齢、異なる成長過程、異なる性別などの多様性を受け入れる共同体でなければならないと考えています。その中で、私たち人間が多様な存在であること、そして多様な人たちが共に生きるにはどうしたらいいのかを学んでいきます」(佐久穂町イエナプランスクール設立準備財団 宅明健太さん)

同校の学習には、教科学習中心のブロックアワー(自立学習・基礎学習)と、教科横断的に学ぶワールドオリエンテーション(協働学習・総合学習)の2種類がある。

【異年齢で構成されるグループ編成】そもそも社会が異年齢で営まれている事を受け、小1~小3、小4~小6で構成される異年齢グループで学びます。

【サークル対話】輪になって話し合うことを繰り返し日常的に行います。対話を通してお互いを知り、他者の気持ちを理解し、他者の意見を尊重すると共に自分の意見も尊重する姿勢を学びます。

【ブロックアワー(自立学習)】教師が子どもの発達段階に合わせた課題を設定することで、子ども自身も自分の発達過程を理解し、自分で学びの計画を立て自身の学びに責任を持つことを学びます。

【ワールドオリエンテーション】自ら問いをたてたことを、仲間と共に探究し、学んだことを発表します。学んだ事を誰かと共に活用する経験を積み、そこからまた新たに学ぶ必要のあることも見つけます。

(レセマム、ダイヤモンドオンラインなど参照)

地域で、「グローバルキッズ」さんなどに相談しながら作っていきたいです。

C案

不登校のフリースクールで有名な**東京シューレ**、特区を使って不登校の子を対象にした私立中学校を作っています。そこも、子どもたちが作る、子どもと作る学校、体験を通して学ぶ、自分のペースで決める、話し合いを大切にしている学校です。修学旅行も自分たちで企画・準備などしています。

「東京シューレは1985年に学校外の子どもの居場所として始まったフリースクールで、主として不登校の子どもと親の支援を行なってきました。33年間で6~

20歳の子ども・若者約4000人が、この場所で学び、育っており、1999年には東京都よりNPO法人の認証を得ました。特定非営利活動法人（NPO法人）東京シューレによるフリースクールやホームエデュケーションネットワーク、そこから生まれた公教育である東京シューレ葛飾中学校、親・保護者へ向けた支援・相談・学習活動など、ニーズに応じた形で、多くの方々とつながる輪を広げています。」

- ・学校法人 東京シューレ学園 東京シューレ葛飾中学校(1条校)

本校は、2007年4月に開校した、定員120人の私立中学校です。

母体は1985年に誕生したフリースクール東京シューレで、不登校の子どもの成長支援や子ども中心の教育では、長年の実績を積んできました。フリースクールの良さを生かし、子どもたちが安心して通い、笑顔で過ごせる学校生活ができたという思いから、葛飾区、東京都、国の協力を得て誕生したユニークな学校です。

- ・東京シューレ江戸川小学校 2020年4月に開校(認可申請中)

緊張と不安の固い表情ではなく、明るい笑顔やはじけるような子どもの声がいつぱいの楽しい小学校を創りたい—— 江戸川区の協力により、日本初の私立の不登校支援の小学校が開校します！子どもが創る、子どもと創る学校です。(東京シューレHP)

*教育特区とは、教育の分野における構造改革特区を指し、教育における構造改革を地方から推進しようとするものである。教育特区に認定された主なものとしては、学校法人以外による学校の設置運営を認めたり、市町村による社会人等の教員への採用、授業を英語で実施すること等を認める特区、幼稚園と保育所の一体的運用を認める特区などがある。 (光文書院HP 教育用語解説)

*学校教育法第一条 この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。

→ 一条校は「正規の学校」であり、公立私立問わず、多額の補助金が投入され、学費は無償か、安い。(アゴラ 言論プラットホーム)

4、地域との連携、地域がどうなるか？

ニーズはあると思います。「きのくに子どもの村学園」は、1学年20人ですが、50人も待機されているそうです。子育て世代が増えると思います。長野県の大日向小学校も、入学希望者が多いようです。全国から、集まります。生野区が大切にしている多文化・多様性、ものづくりの歴史、が教育を通して子どもたちに受け継がれ、自主性・自律・協調など、これからの社会に必要な力をつけられる学校として、全国に発信していけるのではないかと思います。不登校の子どもたちにとっても、行きやすい学校になると思います。

5、その他（求めている連携相手、各種希望条件など）

思いはあっても、具体的な運営やお金のことなど、どうしたらいいんだろうと思ってます。同じ思いを持っている方とつながれたら嬉しいです。

案① 水耕栽培拠点 × 特養リノベ

利用小学校	生野南小学校
対象者	地域の電車移動がしんどくなってきた高齢者(70代) 地域の独居の高齢者
林寺エリアの特徴	高齢化率40%
どんな課題を解決するか	独居の方の栄養バランスが良くない食生活 地域で外食したり、話せる場所がない 働ける場所がない。
具体的な内容	小学校で水耕栽培拠点を作り、その野菜を用いてを特養カフェで総菜を作る。野菜・総菜を販売。屋台販売もありかも。結果、水耕栽培や野菜・総菜の販売で高齢者の働ける場所ができる。特養のカフェで地域の居場所と健康を創出できる。リノベーションの計画は作成済
	<p>【水耕栽培のメリット】</p> <p>地域を選ばず野菜の栽培が可能/地産地消で物流費の削減/物流しないことによるCO2の削減</p> <p>土壌栽培に比べて少ない水でOK/土壌栽培に比べて労働環境が厳しくなく、作業も簡略化可能なので高齢者の雇用も可能/生産性が2倍/自然災害の被害がない</p> <p>【水耕栽培のデメリット】</p> <p>初期投資が必要</p>
利用スキーム	1つの教室だけ借りる。
希望の連携相手	野菜栽培の経験がある方。飲食の経験がある方。



案② ソーシャルベンチャー専用シェアオフィス × 高齢者のスマホ教室

利用小学校	生野南小学校
対象者	地域のスマホを利用してみたいが、苦手意識がある高齢者
林寺エリアの特徴	高齢化率40% 天王寺から1駅 都市型限界集落の先行事例
どんな課題を解決するか	<ul style="list-style-type: none">・子育てママさんの活躍できる場所が少ない・高齢者の社会的孤立・高齢者のデジタルデバイスによる生活不便・IT使えて働ける高齢者がいない・高齢者安否確認がしづらい・地域の課題解決のための新しいアイデア、事業主体が出てきづらい。
具体的な内容	<p>【スマホ教室】</p> <ol style="list-style-type: none">①子育てママさんをスマホ教室の先生に育成②ママさん先生による教室の開講③簡単なスマホ操作を高齢者に教える ここが高齢者にとっておしゃべりの場所にもなる。 高齢者の普段の困りごと・ニーズをひろいあげる。 <p>【ソーシャルベンチャー専用シェアオフィス】</p> <ol style="list-style-type: none">①天王寺から1駅の好立地。低額で使えるシェアオフィスを開く②スマホ教室でひろいあげた高齢者のニーズを聞く③協働で、その課題を解決するためのサービス・プロダクトの開発
利用スキーム	1つの教室だけ借りる。
希望の連携相手	高齢者向けスマホ教室のノウハウを持っている事業者 広島県で展開しているNPO法人の提携予定。



・活用希望の小学校を特定しない提案で構いませんが、希望があれば小学校名を記載してください。

①御幸森小学校 ②鶴橋小学校 ③北鶴橋小学校

・どのような関り方を考えているか(例:校舎・校地全体を借り上げて運営、校舎の一部を使う、時々イベントを行う、運営事業に協賛など)

1980年代から90年代にかけてこの付近には「猪飼野朝鮮図書資料室」「学林図書室」「青丘文化ホール」「カラ文化情報センター」など、朝鮮韓国在日に関する専門図書館等があった。しかし、残念なことに、様々な事情でなくなってしまった。

「猪飼野セッパラム文庫」は1軒丸ごと朝鮮韓国在日の図書資料でいっぱい!みんなのまちの人権図書館!をキャッチフレーズにして、天王寺区でこの4年間活動してきた。しかし、図書資料の増加で手狭になったために、もともと希望していた猪飼野地区で新たに開館したいと考えた。教室を借りて、「猪飼野セッパラム文庫」がすでに所蔵している図書資料を基本にして、継続して朝鮮韓国在日、特に地元の猪飼野をテーマにした図書室運営をおこないたい。

一例として、明倫小学校跡を再利用した「京都芸術センター」の図書室をひとつのイメージとしている。

<https://www.kac.or.jp/library/>

・関わり方の具体的な内容・シーン(利活用・運営面)

古代から現在に至る地元の歴史などについて、定期的に研究会・上映会・講演会も企画する。地元を中心とした聞き取り調査や写真・資料の収集をおこなっていく。民族・国籍・年齢・性別を越えて、誰もが利用できる、新しい「みんなのまちの人権図書館」をつくっていききたい。

・その関わりによって、地域との連携や地域がどう良くなるのかなどの考え方、ねらい

近年の第3次「韓流」の影響もあって、御幸通商店街（生野コリアタウン）には週末のみならず、平日でも多くの観光客が来訪する。ところが、現在のところ、観光客は600mほどの商店街を行き来するのみで（腰をかける場所やトイレもない）、韓流グッズやコスメや立ち食いの食品以外、なかなか体験するところなどが無い。そこで、文庫がまちの形成の歴史などについてさまざまな図書資料・映像音声資料などで対応し、生野区や猪飼野という地域のことを正確に知っていただく場になり、住民同士・来訪者同士の交流の場となることを目指す。

・その他(求めている連携相手、各種希望条件など)

国際交流や教育・人権や街づくり・福祉をテーマとした諸団体との連携を持って行きたい。